

平成 23 年度 社会工学計画演習 実施要領（限定版）

11.04.12

■講義概要（シラバスより）

現代の都市における問題群からよく耳にするキーワードを選び、その意味するところを掘り下げ、オリジナルな枠組をもってそれを捉え直し、その枠組から将来に向けて為すべきことを提案するというプロセスを経て、互いに異なる考え方を調査やディスカッションを通じて収束する方途を模索する。グループ課題。

■演習テーマ（平成 23 年度）

「洗足池周辺地区の地域計画」

東工大の膝元である大田区北部（大岡山も含む）は、住宅地としての土地利用はもちろん、商業、教育機関、交通の結節点など、様々な土地利用を抱えており、この地域を利用する人々は多様である。また、大正期からの都市化の過程で遺された地域資源のみならず、近代以前の地域の履歴も随所に垣間見える、歴史ある人間環境でもある。

そのような中、洗足池（大田区南千束二丁目）は地域の人々の憩いの場を提供しているほか、地形や植生、緑地等の面でも様々な特徴を見せており、地域を代表する大事な資源であると言える。

本演習では、洗足池を中心とした周辺地区について、その特性を活用しながら地域の課題を解決するような計画提案を行うプロセスを学習する。ただし、地域の諸状況について、資料調査や実地踏査を通じて洗い出し、対処すべき重要かつ独創的なテーマを設定する必要がある。その上で、根拠（データ）に基いた合理的な課題解決方策を検討し、計画という体裁で提案を行ってほしい。計画期間は＜2011 年より 10 年間＞とする。



■対象とする地理的範囲

前ページの地図は洗足池周辺の地形図である¹。計画対象となる地理的な範囲は、概ね、西は東工大、北は東急大井町線もしくは目黒線、東は環状七号線で囲まれた地域とし、南部は以上の範囲と対応する広さとするを基本とする。但し、選択した地域の課題（計画テーマ）によっては、この範囲では広すぎるケース、或いは狭すぎるケースがあるだろう。従って上記の範囲はあくまで基本であり、計画提案に応じて合理的な対象範囲を班で設定することが可能である。いずれにしても計画書（レポート）内で範囲とその設定条件を説明することになる。

■スタッフ

教員：十代田（主担当）／齋藤／中井／坂野／土肥／真野／笠原／中西／朴／津々見

TA：内西（真野研）、倉澤（十代田研）、原本（齋藤研）、平澤（十代田研）、野村（真野研）

■最終成果物と成績評価

次の3つの最終成果物をもって、成績評価を行う。上記の10名の教員による評価の平均値が成績（点数）となる。報告書のパーツは、各課題の提出（中間発表会ごと）において作成されていくので（途中で以前のパートを見直し・修正することもあるが）、各課題間で論理的整合性がとれるよう、しっかりと作っていく必要がある。

- | | |
|-----------------------|---|
| 最終成果物
（予定） | <ol style="list-style-type: none">1. 「洗足池周辺地区の〇〇に関する地域計画」報告書2. 計画内容を表すパネル（規格未定）3. 上記の内容に基づくプレゼンテーション（パワーポイント） |
|-----------------------|---|

■グループ編成

グループは1班4～5人程度（履修者数により若干変動する）で初回に編成を行う。

¹ 財団法人日本地図センター「電子国土ポータル」 <http://portal.cyberjapan.jp/index.html>

■スケジュール

- 第1回 4/12 (火) ガイダンス・班分け・K J 法レクチャー
- 第2回 4/19 (火) 現地基本情報の整理 (視察)、K J 法作業
- 第3回 4/26 (火) K J 法作業、問題の絞り込み、調査方針の検討
- 第4回 5/ 3 (火) 発表準備
- 第5回 5/10 (火) ★第1回発表会 (現地概要および問題の構造化、調査の方針)、
アンケート調査レクチャー、調査の設計
- 第6回 5/17 (火) 調査のチェック、調査の実施
- 第7回 5/24 (火) 調査の実施、調査結果の取りまとめ
- 第8回 5/28 (土) 計画コンセプト・計画内容の検討
- 第9回 5/31 (火) 計画コンセプトの検討、発表準備
- 第10回 6/ 7 (火) ★第2回発表会 (調査結果の分析と計画素案)
- 第11回 6/14 (火) 計画コンセプト・内容の再検討、追加調査の実施
- 第12回 6/18 (土) 追加調査の実施、計画素案の修正
- 第13回 6/21 (火) 追加調査の実施、計画素案の修正
- 第14回 6/28 (火) ☆エスキースチェック (発表準備)
- 第15回 7/ 5 (火) ★最終発表会 (計画の最終提案)・講評・打上げ

※中間発表会は 15 時頃に終了する日もあるが、発表会での質疑も踏まえ、当日のうちにその後の作業について班でミーティングを行うことが望ましい。16:30 頃まで各日時間を確保すること。また必要に応じて、上記日程以外でも作業を行うこと。

※6/28 は最終成果物の制作に関して、助教やT Aが相談を受け付ける。

(以 上)